

新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館
指定管理者

平成27年度 事業実績報告書

公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団

目 次

◆ 文化事業実績	P 1
◆ 施設管理運営事業実績	P11
◆ 指定管理者自己評価（芸文）	P19
◆ 指定管理者自己評価（音文）	P25
◆ 委託契約（施設管理）	P27
◆ 委託契約（舞台技術）	P28
◆ 収支決算書	P29

文化事業実績

平成 26 年度からスタートした第 3 期指定管理期間の 2 年目として、文化事業では市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）と音楽文化会館の設置目的を実現するため、以下の基本方針に基づき、音楽・演劇・舞踊の各分野において 2 館の優れた特性を活用し、質の高い創造性あふれる芸術活動を展開するとともに、本市における将来の芸術文化活動を担う人材の育成に努めました。

また、新潟からの新たな質の高い舞台芸術作品を国内外に創造発信し、本市の芸術文化の振興を図りながら都市活力の向上に努めました。

I. 新潟市民の文化活動への支援

新潟市や他の文化団体などとタイアップした共催事業の開催により、幅広い鑑賞機会の提供と市民の芸術文化活動への支援に取り組みました。

また、市民が芸術文化活動に参加し親しめる各種ワークショップや講座などの開催、芸術団体、芸術家と協力して学校や福祉施設等を訪問するアウトリーチ事業を実施し、本市の文化レベルの向上と芸術文化の普及に努め、文化のまちづくりに取り組みました。

II. 地域に根ざした文化の創造

りゅーとぴあ専属ダンス・カンパニー **Niism** やりゅーとぴあ発の演劇レパトリー企画「物語の女たち」シリーズ、「極限に向き合う男」シリーズなどの新潟独自の舞台芸術を国内外に創造・発信しました。

舞踊事業では、**Niism** のメインカンパニー **Niism1** が近代童話シリーズの第一弾となる新作と 26 年度に公演した **Niism2** との合同作品を再製作して上演しました。研修生カンパニー **Niism2** は水と土の芸術祭実行委員会との共同製作作品と定期公演作品の 2 本の新作を製作上演しました。

また、新潟市からの受託事業として、東アジア文化都市 2015 新潟市の事業「新潟インターナショナルダンスフェスティバル **NIDF2015**」を開催したほか、水と土の芸術祭 2015 パフォーマンスプログラムとして、**Niism1** メンバー振付公演を実施しました。

演劇事業では、「物語の女たち」シリーズの新作 2 本と再演作品 2 本を製作上演しました。「極限に向き合う男」シリーズでは 26 年度の新潟公演に引き続き東京公演を実施しました。

さらに新潟独自の芸術文化の創造・発信活動を通して、他の劇場等との連携・協力関係の構築と舞台芸術を通じた国際交流を深め、地方の公立劇場としての拠点性を高めるとともに文化創造都市イメージの向上に努めました。

Ⅲ. 質の高い芸術を鑑賞する機会の提供

地域のリーディングホールとして、上質な専門施設を活用しながら、優れた舞台芸術の多様な鑑賞機会を提供し、豊かで彩りのある市民生活づくりに努めました。

音楽事業では、準フランチャイズ提携をしている東京交響楽団による年 6 回の新潟定期演奏会を柱としたオーケストラ演奏会やピアノリサイタルシリーズ、歌の花束シリーズ、オルガンシリーズなどのシリーズ企画の他、気軽に演奏会を体験していただく 1 コインコンサートなど多彩な演奏会を開催し、聴衆レベルの向上と幅広い層の聴衆の拡大を図りました。

演劇事業では、演劇部門芸術監督企画の公演や古町芸妓が総出演する「ふるまち新潟をどり」などのレパートリー的企画のほか、世田谷パブリックシアター製作の野村萬斎主演「敦一山月記・名人伝」などの劇場プロデュースの演劇作品や小劇場系の演劇作品、伝統芸能など様々な舞台芸術の公演を開催し、賑わいと深みのある劇場空間の創造と観客の定着を目指しました。

能楽事業では、伝統様式の能舞台を活用し、観世流と宝生流による春と秋の「能楽鑑賞会」や能村万作・萬斎狂言公演などを開催し、日本の伝統芸能の普及に努めました。

Ⅳ. 文化を支える人材の育成

幅広い年代と様々な舞台芸術のジャンルにおける人材育成を図り、文化の裾野の拡大に努めました。

音楽事業では、オーケストラ、合唱、邦楽の「ジュニア音楽教室」、演劇事業では、「演劇スタジオ・APRICO」の活動を通して、本市の芸術文化活動を支えるジュニアの育成に努めました。また、提携オーケストラ東京交響楽団との共演を目的に活動している「にいがた東響コーラス」のレベル向上を目指しました。

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館、県民会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行いました。

また、市民芸術文化会館、音楽文化会館、及び県民会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術などを発信しながら芸術文化の振興を図りました。

(1) 音楽事業

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会や、音楽愛好者拡大のための演奏会、さらにオルガンの活用事業、オペラ・コンサート、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努めました。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図りました。

① 鑑賞事業

ー東京交響楽団シリーズー

・東京交響楽団新潟定期演奏会

- | | | |
|--------|---------------------|---------------------------------|
| 第 89 回 | 平成 27 年 5 月 17 日(日) | ～フランク：交響曲ニ短調～ |
| 第 90 回 | 6 月 7 日(日) | ～ブルックナー：交響曲第 7 番ホ長調～ |
| 第 91 回 | 8 月 23 日(日) | ～チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第 1 番変ロ短調～ |
| 第 92 回 | 10 月 18 日(日) | ～ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」(1945 年版)～ |
| 第 93 回 | 11 月 29 日(日) | ～ドヴォルザーク：交響曲第 8 番ト長調～ |
| 第 94 回 | 平成 28 年 3 月 20 日(日) | ～フォーレ：～レクイエム ニ短調 |

・コントホールへようこそ～わくわくキッズコンサート(5回公演) 平成 27 年 10 月 20 日(火)・21 日(水)

・特割コンサート 平成 27 年 10 月 21 日(水)

・東響定期+α 日本のオーケストラシリーズ No.7 大阪フィルハーモニー交響楽団

平成 27 年 9 月 26 日(土)

・東響定期+α 1 コインコンサート“プレミアム” 平成 27 年 7 月 6 日(月)

・東響定期+α カルミナ四重奏団 平成 27 年 12 月 2 日(水)

ーピアノ・リサイタルシリーズー

・No.33 フランチェスコ・トリスターノ 平成 27 年 11 月 26 日(木)

ー歌の花束シリーズー

・Vol.24 タリス・スコラーズ 平成 27 年 6 月 18 日(木)

・Vol.25 ドイツの詩と歌曲の愉しみ 平成 27 年 9 月 6 日(日)スタジオ A

ーカルテットシリーズー

・カルミナ四重奏団 (再掲) 平成 27 年 12 月 2 日(水)

ーオルガンシリーズー

- ・山本真希リサイタルシリーズ No.20 平成 27 年 9 月 5 日(土)
- ・オルガン・クリスマスコンサート 2015 平成 27 年 12 月 11 日(金)
- ・トーマス・レンナルツ・リサイタル 平成 28 年 2 月 11 日(木/祝)
- ・山本真希リサイタルシリーズ No.21 (中止)
- ・ベルナール・フォクルール・リサイタル (中止)

ーりゅーとぴあオペラ劇場シリーズー

- ・オペラ・コンサート 2016～《椿姫》ハイライト 平成 28 年 3 月 5 日(土)

ーホール体験事業ー

- ・1 コインコンサート
 - Vol.76 「ピアノ」 平成 27 年 5 月 21 日(木)
 - Vol.77 「オルガン」 平成 27 年 6 月 12 日(金)
 - Vol.78 「チェロ&ピアノ」 平成 27 年 9 月 9 日(水)
 - Vol.79 「ヴァイオリン二重奏」 平成 27 年 10 月 27 日(火)
 - Vol.80 「テノール」 平成 27 年 11 月 1 日(日)
 - Vol.81 「オーボエ」 平成 27 年 12 月 16 日(水)
 - 1 コインコンサート “プレミアム” (再掲) 平成 27 年 7 月 6 日(月)

ーその他ー

- ・茂木大輔のオーケストラコンサートシリーズ No.11 平成 27 年 6 月 28 日(日)
- ・ロシア国立交響楽団 平成 27 年 7 月 17 日(金)
- ・バロックアンサンブル ストラディ・ヴァリア 平成 27 年 9 月 18 日(金)劇場
- ・ホルンで奏でる「紅白歌合戦 2015」“THE FINAL” 平成 27 年 10 月 10 日(土)
- ・グザヴィエ・ドゥ・メストレ ハープリサイタル 平成 27 年 11 月 2 日(月)
- ・オペラシアターこんにゃく座 オペラ《銀のロバ》 平成 27 年 11 月 21 日(土)劇場
- ・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「お年玉コンサート」 (中止)
- ・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「ニューイヤークンサート」 (中止)

② 育成・普及事業

ーオルガン事業ー

- ・オルガン普及プログラム

りゅーとぴあオルガン講座

プレ講座 平成 27 年 4 月 19 日(日)

ポジティブオルガン演奏コース I 平成 27 年 5 月 24 日(日)～7 月 5 日(日) 全 4 回

ポジティブオルガン演奏コース II 平成 27 年 10 月 25 日(日)～12 月 18 日(金) 全 5 回

リスナーコース 平成 27 年 5 月 24 日(日)～11 月 22 日(日) 全 5 回

大オルガン演奏コース

ジュニアコース (中・高生) 大オルガン使用の半年コース (継続あり)

基礎コース 大オルガン使用の 1 年コース (1 年のみ継続あり)

応用コース	大オルガン使用の1年コース(1年のみ継続あり)
オルガン・サマーデイズ	平成27年8月7日(金)
	平成27年8月21・22日(金・土)
ニューイヤー・オルガンスペシャル	平成28年1月7・8・10日(木・金・日)
オルガン講座修了演奏会	平成28年3月6日(日)
オルガン音楽隊(開催なし)	

ー市民参加合唱団ー

- ・にいがた東響コーラス 平成27年12月～平成28年3月

ージュニア等育成事業ー

- ・ジュニアオーケストラ教室育成事業
 - 第34回定期演奏会 平成27年9月13日(日)
 - クリスマス演奏会 平成27年12月23日(水/祝)
- ・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会
 - 第26回幹事会 平成27年5月26・27日(火・水)仙台
 - 第27回幹事会 平成28年2月23日(火)東京
- ・ジュニア合唱団育成事業
 - 第25回定期演奏会 平成27年7月20日(月/祝)
 - クリスマス演奏会 平成27年12月19日(日)
 - 第38回新潟県少年少女合唱団合同演奏会 平成27年8月22日(土)長岡
 - 第3回にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2016 平成28年2月14日(日)
- ・ジュニア邦楽合奏教室育成事業
 - 第20回定期演奏会 平成27年7月26日(日)音文
 - ジュニア邦楽合奏フェスティバル 平成27年8月2日(日)
 - クリスマス演奏会 平成27年12月19日(土)能楽堂楽屋
- ・ジュニア音楽教室第12回スプリングコンサート 平成28年3月27日(日)

ーその他ー

- ・りゅーとぴあアウトリーチ事業
 - ジョイント・コンサート 平成28年3月6日(日)秋葉区文化会館
 - アウトリーチ(市内小学校ほか) 平成27年4月30日(木)～平成28年1月25日(月)全52回
- ・気軽に音ステージ 平成27年6月7日(日)音文
- ・おんぶん・リレーコンサート 平成28年3月12・13日(土・日)音文
- ・コンサートホール企画連絡会議 平成27年7月27・28日(月・火)京都
平成28年3月2・3日(水・木)東京

(2) 演劇事業

多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、劇場製作及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能などの様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指し

ました。さらに専門ホールの特性を活用した新潟発の演劇作品を創造し、全国に向けて発信しました。

また、「演劇スタジオキッズ・コース APRICOT」、「こどもの劇場シリーズ」により次世代を担う子どもたちのなかから舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育むとともに、地域の文化ホールや民間の劇団と連携を組み、広く演劇に携わる人材の育成と演劇活動の振興を図りました。

① 鑑賞事業

- ・「結びの庭」 1回公演 平成27年4月12日(日)
- ・「笑った分だけ、怖くなる」 vol.1 1回公演 平成27年4月22日(水)
- ・「ART」 平成27年5月27日(水)
- ・「第二十七回ふるまち新潟をどり」 2回公演 平成27年6月21日(日)
- ・「敦一山月記・名人伝一」 1回公演 平成27年6月27日(土)
- ・朗読劇「わりなき恋」 1回公演 平成27年7月11日(土)
- ・「cocoon」 1回公演 平成27年7月18日(土)
- ・「メアリー・ステュアート」 1回公演 平成27年7月24日(金)
- ・KERA・MAP「グッドバイ」 1回公演 平成27年10月7日(水)
- ・キャラメルボックス「BREATH」 2回公演 平成27年11月28・29日(土・日)
- ・「ブロッケンの妖怪」 1回公演 平成27年12月8日(火)
- ・「熱海殺人事件」 2回公演 平成28年2月5・6日(金・土)
- ・水都寄席「春風亭小朝独演会」 平成28年2月21日(日)
- ・NE/ST第4弾「従軍中のウイゲンシュタインが(略)」 平成28年3月9日(水)
- ・ミュージカル「ピーターパン」(中止)

② 育成・普及事業

- ・りゅーとぴあ演劇スタジオキッズ・コース APRICOT 通年(発表公演:夏季/7月17日/春季)
- ・こどもの劇場シリーズ「気づかいルシー」 1回公演 平成27年9月26日(土)
- ・りゅーとぴあ・演劇ワークショップ
笹部博司「リーディング体験ワークショップ」6回 平成27年10月17日(土)~12月20日(日)
- 谷賢一「演劇ワークショップ」2回 平成28年1月23日(土)・24日(日)

③ 新潟発創造事業

- ・りゅーとぴあ発 物語の女たちシリーズ 第9弾
「私のエディット~松坂慶子が語るエディット・ピアフの物語」 出演/松坂慶子
平成27年5月20日(水)~22日(金)3回公演 三越劇場
平成27年5月30日(土)劇場
- ・りゅーとぴあ発 物語の女たちシリーズ 第10弾
「華岡青洲の妻」/十朱幸代 平成27年11月12日(木) 三越劇場 他
平成27年11月21日(土)能楽堂 他
- ・りゅーとぴあ発 物語の女たちシリーズ 第2弾「燃えよ剣」再演 東京他7か所8公演
- ・りゅーとぴあ発 物語の女たちシリーズ 第3弾「黒い雨」再演 広島、長崎他 計25公演

- ・極限に向き合う男 井上芳雄による「夜と霧」～苦しみの果て、それでも人生に然りと云う～
平成 28 年 2 月 16 日(火)~20 日(土) 5 回公演 イタリア文化会館 アネッリホール
- ・内野聖陽「乳房」(次年度に延期)

(3) 能楽事業

伝統様式に則った本格的な能舞台と劇場の舞台を活用し、子どもから一般までを対象とした鑑賞公演と、能狂言に対する基礎的な知識や興味を高める能楽講座、ワークショップ等を開催しました。また、子どもたちを対象としたお囃子と狂言のワークショップやアウトリーチ事業の能楽体験教室を開催して若年層への能楽普及を図りました。

① 鑑賞事業

- ・「春の能楽鑑賞会」(観世流) 2 回公演 平成 27 年 6 月 28 日(日)
- ・「秋の能楽鑑賞会」(宝生流) 2 回公演 平成 27 年 10 月 3 日(土)
- ・野村万作・萬斎狂言公演 2 回公演 平成 27 年 11 月 22 日(日)
- ・馬場あき子特選 能楽鑑賞会 1 回公演 平成 27 年 12 月 12 日(土)
- ・能楽堂で楽しむお正月 1 回公演 平成 28 年 1 月 17 日(日)

② 育成・普及事業

- ・能楽基礎講座 若手能楽師に聞く能の楽しみ 年 3 回 平成 27 年 5 月 19 日(火),
平成 27 年 12 月 5 日(土)
平成 28 年 2 月 20 日(土)
- ・春能プレ講座 平成 27 年 5 月 30 日(土)
- ・観世流能楽鑑賞教室(観世文庫共催)
舞の習い 8 回 平成 27 年 8 月 29 日(土)
平成 27 年 6 月 20 日(土)~8 月 28 日(金)
- ・秋能プレ講座 平成 27 年 9 月 6 日(日)
- ・能楽体験教室 [謡](学校訪問) 平成 27 年 5 月 22 日, 7 月 10 日,
11 月 27 日, 平成 28 年 2 月 19 日
- ・能楽ワークショップ [囃子](能楽堂・市内小中学校) 平成 27 年 10 月 28,29 日(水木)
- ・能楽ワークショップ [狂言](能楽堂・市内小中学校) 平成 28 年 1 月 19,20 日(火水),
3 月 1 日(火)
- ・「さわってみよう能の世界」 平成 28 年 3 月 5 日(土)

(4) 舞踊事業

全国唯一のレジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism の活動を通して、水準の高い新潟オリジナルの舞踊作品を国内外に向けて創造発信し舞台芸術の振興を図りました。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育みました。また、新潟市及び新潟市関連事業との協働・連携や他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することから、全市的及び地方の拠点施設としての地位と役割を高め、文化創造都市としての更なるイメージ向上を目指しました。

① 新潟発創造事業

- ・りゅーとびあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism 運営事業

(公演事業)

- ・近代童話劇シリーズ Vol.1 Noism1 「箱入り娘」(「水と土の芸術祭 2015」参加作品)
 - 新潟公演 りゅーとぴあ・スタジオB 13回公演 平成27年6月6日(土)～15日(月)
7月24日(金)～8月1日(土)
※7/26、7/30は「みづつち特別公演」
 - 神奈川公演 KAAT 神奈川芸術劇場 6回公演 平成27年6月22日(月)～28日(日)
 - 金沢公演 金沢21世紀美術館 2回公演 平成27年7月18日(土)、19日(日)
※7/19 Noism 舞踊体験ワークショップ(金沢歌劇座)
 - ・Noism1&Noism2 合同公演 劇的舞踊「カルメン」【再演】
 - 〈プレ事業〉劇的舞踊「ホフマン物語」ビデオ上映会 りゅーとぴあ・能楽堂
平成27年12月13日(日)
 - 新潟公演 りゅーとぴあ・劇場 3回公演 平成28年1月29日(金)～31日(日)
※1/31 劇的舞踊「カルメン」バックステージツアー
 - 神奈川公演 KAAT 神奈川芸術劇場 3回公演 平成28年2月19日(金)～21日(日)
[東アジア文化都市2015新潟市「韓国舞踊家レジデンス・プログラム」]
 - ・Noism2×永島流新潟樽砧伝承会「赤降る校庭 さらにもう一度 火の花散れ」(水と土の芸術祭2015共同製作)
水と土の芸術祭2015 ベースキャンプ(旧二葉中)グラウンド 4回公演 平成27年8月22日(土)、23日(日)
 - ・Noism2 定期公演「Painted Desert/SAUDADE」 りゅーとぴあ・スタジオB
3回公演 平成27年12月11日(金)～13日(日)
- (その他受託事業)
- ・Noism2 長岡公演 長岡リリックホール・シアター 1回公演 平成27年4月24日(金)
 - ・「みなと新潟春フェスタ」Noism2+プロジェクションマッピング みなとぴあ新潟市歴史博物館・前庭
4回公演 平成27年5月2日(土)、3日(日)
 - ・Noism2 特別公演(全国公立文化施設協会研究大会) りゅーとぴあ・劇場
1回公演 平成27年6月5日(金)
 - ・東アジア文化都市2015新潟市「新潟国際ダンスフェスティバル NIDF2015」
 - 大邱市立舞踊団(DCMDC)「Moon-Looking Dog」/「I Saw the Elephant」より第2部
りゅーとぴあ・劇場 1回公演 平成27年8月21日(金)
 - 城市当代舞踊団(CCDC)「As If To Nothing」
りゅーとぴあ・劇場 1回公演 平成27年8月28日(金)
 - Noism0「愛と精霊の家」(水と土の芸術祭2015参加作品)
りゅーとぴあ・劇場 1回公演 平成27年9月4日(金)
 - 文化鼎談「劇場専属舞踊団の課題とアジアの未来」新潟県民会館・小ホール
平成27年8月23日(日)
 - ・水と土の芸術祭2015 パフォーマンスプログラム
 - Noism1 メンバー振付公演 新潟市全域 5回公演 平成27年8月29日(土)、30日(日)
9月5日(土)、6日(日)
 - こどものためのからだワークショップ 新潟市子ども創造センター 全1回
平成27年8月1日(土)
 - Noism サマースクール りゅーとぴあ・スタジオB 全8回 平成27年8月8日(土)、9日(日)
15日(土)、16日(日)

リーディング・カフェ in 水と土の芸術祭 水と土の芸術祭2015 ベースキャンプ(旧二葉中音楽室)
全1回 平成27年9月5日(土)

小学校出張ワークショップ 新潟市立女池小学校・体育館 全1回 平成27年9月15日(火)

柳都会みずつちスペシャル 水と土の芸術祭2015 ベースキャンプ(旧二葉中体育館)
全1回 平成27年9月6日(日)

・Noism1 「箱入り娘」【韓国公演】 Namsan Arts Center 2回公演
平成27年9月14日(月)、15日(火)

② 育成・普及事業

- ・「柳都会」第13回 ほんぽーと 新潟市立中央図書館 平成27年 4月19日(日)
- ・「柳都会」第14回 りゅーとぴあ・スタジオB 平成27年11月22日(日)
- ・Noism2 学校出前公演「赤降る校庭 さらにもう一度 火の花散れ」(新潟市踊り文化推進事業受託)
 - 新潟市立東石山中学校 平成27年11月17日(火)
 - 新潟市立上山中学校 平成27年11月18日(水)
 - 新潟市立葛塚中学校 平成27年11月19日(木)
- ・先生のためのからだワークショップ (新潟市踊り文化推進事業受託)
 - 新潟市亀田総合体育館 平成28年 2月 9日(火)
- ・Noism ワンデイスクール事業 (新潟市踊り文化推進事業受託)
 - りゅーとぴあ・スタジオB 平成28年 3月12日(土)

(5) 共催事業

芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行いました。

また、5月8日～10日に開催されたクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ新潟2015」では、新潟市などで構成される音楽祭実行委員会に財団も参加し、主催事業と連携を取りつつ、合わせて広範な集客を図りました。

- ・佐渡裕指揮・兵庫芸術文化センター管弦楽団 平成27年 4月17日(金)
- ・ラ・フォル・ジュルネ新潟2015 平成27年5月8日(金)～10日(日)
- ・Walk oN! 平成27年 6月7日(日)
- ・遠藤実の世界 平成27年 6月23日(火)
- ・アンサンブル・オーケストラ金沢 平成27年 6月24日(水)
- ・第63回新潟市芸能まつり 平成27年10月～11月音文ほか
- ・新垣隆&磯絵里子おしゃべりコンサート 平成27年12月22日(火)
- ・「第12回劇場で踊ろう! ダンスキッズ大集合」 平成27年12月27日(日)劇場
- ・プラハ交響楽団 平成28年1月11日(月/祝)

(6) 広報営業事業

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保並びに企業協賛の募集など、広報・営業活動を効果的に展開し、合わせて上質な施設機能を広くアピールして、会館の知名度の拡大と利用促進を図りました。

なお、平成 27 年度から指定管理を受託した新潟県民会館の事業も併せて広報・営業活動を効果的に展開し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の 3 館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高めるための広報を展開しました。

- ・ 広報・営業事業
- ・ 音楽広報事業
- ・ 演劇広報事業

(7) 調査研究諸費

次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進ホールの運営や優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努めました。

(8) 事業企画諸費

音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を内外に発信しました。

- ・ 芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
- ・ 専属オルガニスト

(9) 事業管理経費

票券業務、託児サービス業務などを引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努めました。

施設管理運営事業実績

運営に関する基本的な考え方

○市民芸術文化会館・音楽文化会館共通

施設の管理については、次の3点を基本的な考え方としながら、会館の機能を最大限に維持すること、衛生的で品位のある施設を維持することに努めました。

- 1 限られた予算の中で設備の故障リスクを最小限に抑えるために、メンテナンス方法を予防保全と事後保全に分け、効率的な維持管理を行なう。

※ 予防保全 : 故障が発生しないように行なうメンテナンス方法（日常点検・定期点検、部品の寿命を考慮した部品交換）

※ 事後保全 : 設備が故障してから修理を行なう方法

- 2 建物の衛生的環境を維持するため、法令に従い必要な測定・調査・清掃を行い、安心・安全な施設を維持します。

- 3 管理業務の一層の効率化により、最小の経費で最大の効果を図る。

① 委託業務のさらなる仕様見直し

② 市民芸術文化会館と音楽文化会館の管理の一元化（継続実施）

・警備、検査、設備点検、植栽業務の統合管理（継続実施）

○市民芸術文化会館

ホール等の運営については、ショップで扱うグッズやインフォメーションの充実を図るとともに、レストラン・ビュッフェ、展望ラウンジなど多様な飲食コーナーを配置して、来館者の皆さまが快適に過ごしていただけるように努めました。

また、11月～12月には、2階共通フロアーに、職員が手づくりでクリスマスの飾りつけを行なうなど、心のこもったサービスを提供しました。

ク
リ
ス
マ
ス
の
飾
り
つ
け



また昨年に引き続き、市民の方々に施設に触れる機会を提供し、身近に感じていただくために、バックステージツアーを企画しました。

年 度	回 数	参加者数
H 2 7	3企画・6回	73人
H 2 6	3企画・6回	69人

○音楽文化会館

引き続き、市民にステージの雰囲気味わっていただく体験イベント「気軽に音ステージ」と「リレーコンサート」を企画し、多くの参加を得ました。

年 度	気軽に音ステージ		リレーコンサート	
	出演者数	楽器体験者数	出演者数	観 客 数
H 2 7	63人	523人	313人	753人
H 2 6	71人	359人	349人	1,012人

事業内容

1 貸館事業

○市民芸術文化会館

[計画の目標値との比較] () 内：稼働日数

	稼働率		
	目標値	実績	差引
コンサート	89.0%	82.7%	▲6.3%
ホール	(268日)	(249日)	(▲19日)
劇場	78.0%	83.3%	5.3%
	(229日)	(244日)	(15日)
能楽堂	47.0%	44.8%	▲2.2%
	(145日)	(138日)	(▲7日)

入場者数(人)		
目標値	実績	差引
347,000	373,482	26,482
歳入(千円)		
目標値	実績	差引
71,000	69,813	▲1,187

[平成26年度実績との比較]

	稼働率		
	H26	H27	差引
コンサート	89.5%	82.7%	▲6.8%
ホール	(273日)	(249日)	(▲24日)
劇場	78.8%	83.3%	4.5%
	(238日)	(244日)	(6日)
能楽堂	37.7%	44.8%	7.1%
	(124日)	(138日)	(14日)

入場者数(人)		
H26	H27	差引
370,040	373,482	3,442
歳入(千円)		
H26	H27	差引
73,164	69,813	▲3,351

[分析]

① コンサートホール

ラ・フォル・ジュルネや東京交響楽団の定期演奏会、1コインコンサートなどの人気シリーズの公演のほか、自主事業を積極的に展開しました。高い稼働率を維持していますが、自主公演の日数減などにより昨年度より稼働率が下がりました。今後、引き続き利用の促進に努めます。

② 劇場

26年度は貸館の増加により前の年より稼働率が上がっていましたが、27年度はそれに加え東アジア文化都市事業に関連する公演が増加したことなどから、稼働率は昨年度よりさらに伸び目標値を達成しました。

③ 能楽堂

施設の性格上、用途の幅が制限されることにより、依然として目標値に達していませんが、学会などの貸館利用が昨年度より増え、稼働率は大きく上がりました。引き続き利用の促進に努めます。

④ 入場者数

自主事業による入場者は26年度と比較すると、各ホール共に減少傾向にありますが、貸館による入場者数が大きく伸びたことにより昨年度に比べ、全体で約3千4百人の増加となりました。

⑤ 歳入

24年度から26年度まで増加傾向にありましたが、27年度は全国大会など大型の貸館利用が減少したことなどにより、施設使用料は前年度に比べ約330万円減少し目標値には届きませんでした。引き続き利用の促進に努めます。

○音楽文化会館

【計画の目標値との比較】（ ）内：稼働日数

	稼働率		
	目標値	実績	差引
ホール	74.0%	67.2%	▲6.8%
	(138日)	(125日)	(▲13日)

入場者数 (人)		
目標値	実績	差引
104,000	102,488	▲1,512
歳入 (千円)		
目標値	実績	差引
20,200	23,190	2,990

【平成26年度実績との比較】

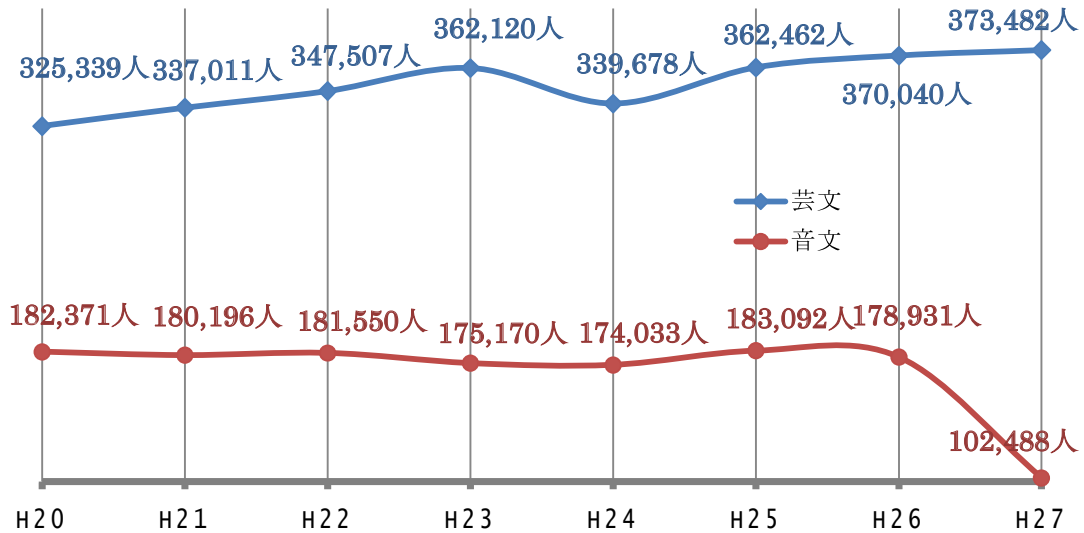
	稼働率		
	H26	H27	差引
ホール	70.4%	67.2%	▲3.2%
	(212日)	(125日)	(▲87日)

入場者数 (人)		
H26	H27	差引
178,931	102,488	▲76,443
歳入 (千円)		
H26	H27	差引
27,158	23,190	▲3,968

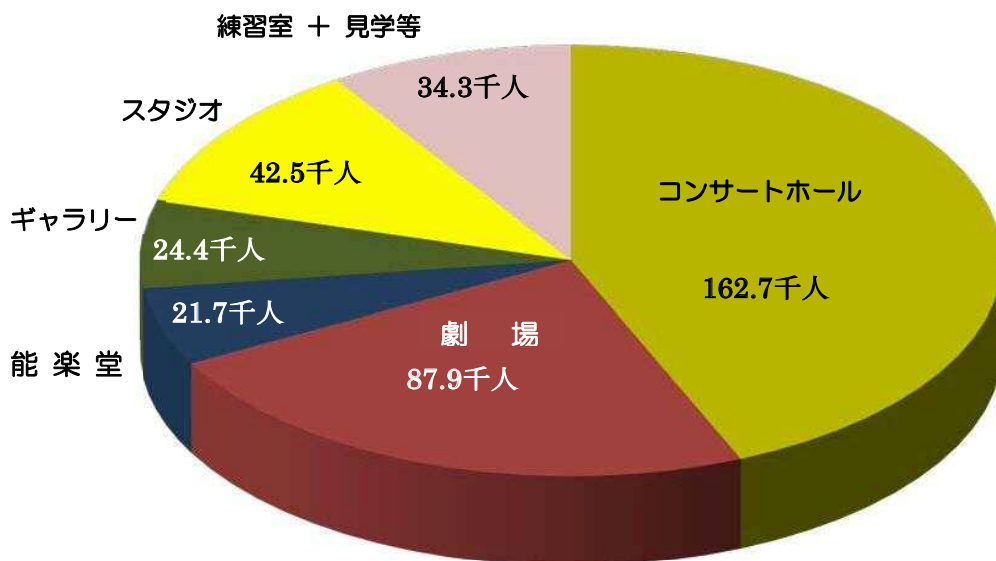
【分析】

全般：建物の耐震補強工事が長期間（5ヶ月間）行なわれた影響からホールの稼働率と年間入場者数の目標は達成できませんでした。利用の多い10～12月に休館した影響が大きいと思われます。使用料は目標を達成することができました。

【参 考】 入館者数の推移



平成 27 年度 芸術文化会館入館者内訳



2 貸館利用受付時間

公平性を遵守しながらも、市民サービスを基本に考えて、柔軟な対応を図りました。

○市民芸術文化会館： 土日を含む毎日 9：30～18：00（休館日を除く）

○音楽文化会館： 土日を含む毎日 9：00～17：00（休館日を除く）

3 登録レセプションニストの配置

登録レセプションニストの配置については、公演の円滑な進行とお客さまの快適性、そして効率性に配慮しながら運営しました。

また、外部講師による研修や職場内研修を実施し、スキルアップを図ることなどにより主催者・鑑賞者双方から、接客の姿勢について高い評価をいただいております。

- ・業務：客席案内、クローク業務、ビュッフェ業務、チケット確認等
- ・研修：内部講師による基礎・専門研修、危機管理研修・訓練等

	レセ登録数	稼働数	延べ稼働人員
H 2 7	47人	305公演	4,730人
H 2 6	50人	287公演	4,590人

4 舞台技術スタッフによるサービス

○市民芸術文化会館

- ・公演時に求められる高度な演出を実現するため、会館の舞台技術スタッフが仕込み段階から主催者をサポートしています。

設備の操作については、危険度の高い舞台機構は当館の技術スタッフがすべて行い、音響・照明設備は主催者側スタッフ（市民、外部専門スタッフ）に技術指導（一部補助操作）を行なうなど、サービスの向上に努めました。

なお、安全第一の舞台運用と演出ノウハウの支援・指導については、主催者及び関係スタッフから大きな信頼と好評をいただいております。

- ・新潟発創造事業、育成事業に積極的に参加し、創作活動と遠征公演での経験が、舞台技術の大きな蓄積と職員のスキルアップに役立っています。

○音楽文化会館

昨年に引き続き、ホール等に会館の舞台技術スタッフを配置し、準備作業や本番の操作をアドバイスすることで、市民の舞台づくりを支援しました。

5 飲食サービスの提供

○市民芸術文化会館

・3階レストラン「リバージュ」はイタリア料理を中心とした豊富なメニューを取り揃えて、来館した多くのお客様に飲食サービスを提供しました。

クリスマスシーズンに特別メニューを用意するなど、工夫を凝らしたサービスで利用者から好評をいただきました。

2階「セーリングカフェ」は、公演前のお客様に向けた軽い食事や喫茶メニューを用意しております。

・6階展望ラウンジでは、「旬彩 柳葉亭」が、旬の食材を用いたお料理や飽きの来ないメニューを提供し、年代にかかわらず幅広い客層から、気軽に利用できるとご支持をいただいております。

・コンサートホール、劇場及び能楽堂の「ビュッフェ」を年間243公演で営業（直営）し、開演前や休憩時のドリンク、サンドイッチなどのサービス提供に努めました。

○音楽文化会館

平成22年度より、2階の喫茶レストラン「Kitchen&Café コル」が営業を開始し、ランチや喫茶メニューを提供しています。

また館内では、各階に飲料用の自動販売機を設置して、引き続き来館者へのサービス提供を図りました。

6 インフォメーションセンター、ショップの設置

○市民芸術文化会館

インフォメーションセンターでは、白山公園一帯の情報提供、館内の様々な問い合わせへの対応、自主事業や貸館公演チケットの販売、さらにはショップの営業（主に受託販売）など、幅広いサービスの提供に努めました。

貸館公演のチケット販売については、年間で141件の依頼を受け、受託枚数10,953枚に対して、6,737枚を販売しました。

ショップでは、音楽や演劇などに関連した魅力あるグッズを提供し、会館のイメージアップに寄与しています。

○音楽文化会館

事務室で貸館公演チケットの販売を行い、年間28件の依頼を受け、受託枚数583枚に対して214枚を販売しました。

自己評価

別紙のとおり

「指定管理者自己評価（H27年度）」（芸文・音文）

再委託実績

別紙のとおり

「平成 27年度 委託契約（施設管理）」

「平成 27年度 委託契約（舞台技術）」

収支決算

別紙のとおり

「新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館 収支決算書」

H27年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト	
市 民	1	基準稼働率の達成	3ホール稼働率	コンサートホール	89.0%以上	82.7%	C	劇場稼働率は目標を達成した。コンサートホール、能楽堂は目標稼働率を下回ったが、入場者数は昨年度を上回った。 【参考】昨年度評価 ・コンサートホール B(89.5%) ・劇場 B(78.8%) ・能楽堂 C(37.7%)
	2			劇場	78.0%以上	83.3%	A	
	3			能楽堂	47.0%以上	44.8%	C	
	4	基準利用者数の達成	施設別利用者数 + 視察・見学者・LFJ交流S	年間人数	347,000人以上	373,482人	A	目標を上回ることができた。
	5	文化事業年間鑑賞者数	自主事業の年間入場者・参加者数	年間人数	120,000人以上	134,067人	A	自主公演を積極的に実施し、目標を大きく上まわった。
	6	貸館利用者に対するサービスの提供	地域創造ユニット(B-1-④)	対応マニュアルを設置し、利用者の安全と満足度を意識したサービスの提供をしているか。			A	担当者・担当窓口を設置し、マニュアル等を基本としつつ、舞台装置の操作助言を行うなど、利用団体の特性や公演内容等に配慮した柔軟なサポートやサービスを提供している。
	7	貸館利用者の意見やニーズを聴取する仕組みの有無		実施していること			A	貸館利用報告書とアンケートが一体となっており、利用者の意見を聴取しやすい取り組みを行っている。また、イベントごとのアンケート集計を実施している。
	8	貸館利用者（主催者）満足度	アンケートによる満足度調査	満足度	90%以上	99.1%	A	
	9	文化事業公演年間公演回数		自主事業年間公演回数	118公演以上	426公演	A	自主公演を積極的に実施し、目標を上まわった。
	10	文化事業公演鑑賞者の意見やニーズを聴取する仕組みの有無		実施していること			A	すべての公演でアンケートを実施し、回収結果を整理のうえ事業担当者、管理職が情報共有している。
	11	文化事業公演等の鑑賞者の満足度	アンケートによる満足度調査	創造系作品鑑賞者の満足度	90%以上	98.1%	A	観客に満足いただける事業を展開できた。
	12			鑑賞系公演鑑賞者の満足度	90%以上	98.1%	A	//
	13			普及系公演鑑賞者の満足度	90%以上	96.1%	A	//
	14			育成系公演鑑賞者の満足度	90%以上	98.1%	A	//
	15	ワークショップ回数・アウトリーチ回数		育成系事業で年間	48回以上	76回	A	東響学校訪問：60回、ジュニア3教室：11回 APRICOT：5回 と目標を大きく上回った。
	16			→ 東響40回、JC2回、APRI2回、Org4回で想定				
	17	普及系事業で年間		普及系事業で年間	17回以上	68回	A	Noism：16回、音楽アウトリーチ：52回 と目標を大きく上回った。
	18			→ Noism5回、音楽アウトリーチ12回で想定				
	17	育成系事業の参加者数	年度末時点での団員数	ジュニアオーケストラ ジュニアコーラス ジュニア邦楽 アプリコット	130人以上 90人以上 30人以上 50人以上	ジュニアオーケストラ ジュニアコーラス ジュニア邦楽 アプリコット	112人 116人 33人 45人	B 目標を上回ったもの → ジュニアコーラス、ジュニア邦楽 目標を下回ったもの → ジュニアオーケストラ、アプリコット
18	創造系事業の実施		年間公演回数	27回以上	59回	A	物語シリーズ：7回 Noism：47回 他：5回 と目標を大きく上回った。	
19	創造系事業市外公演回数		年間公演回数	17回以上	21回	A	物語シリーズ：5回 Noism：11回 他：5回 と目標を大きく上回った。	

H27年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト	
市 民	20	公演や催し物情報の情報発信		下記の取組をしているか。 ①ホームページ、②メールマガジン、③テレビ・ラジオ、④新聞、⑤雑誌、⑥機関紙	①～⑥ すべて取組あり	A		
	21	地域アピールに関する取組み		活動と成果を、地域内外に積極的に広報しているか。	アプリコット 江南区公演 他 新潟発創造事業（演劇） Noism 東京公演 他 韓国・神奈川公演他	A	新潟市民芸術文化会館外での公演を積極的に実施した。	
	22	会館記事の新聞掲載件数	名称や事業名等が新聞等に掲載された件数	年間掲載数	150件以上	142件	C	関連記事の掲載を積極的に働きかけたが、目標には及ばなかった。
	23	会館会員サービス、チケット販売サービスに関する取組み	地域創造ユニット（B-2-⑥）	下記の取組をしているか。 ①会員先行予約・優先予約制度、②チケット購入者への駐車場割引、③チケット割引制度、④セット券の販売、⑤カード決済⑥会員への機関紙の送付	①～⑥ すべて取組あり	A		
	24	会館会員数の確保	年度末時点での会員数	会員数	5,400人以上	5,163人	C	目標には及ばなかったが、昨年度末（5,127人）より微増。
	25	ホスピタリティに関する取組み	地域創造ユニット（B-2-③）	職員にホスピタリティ向上の必要性を徹底するとともに、利用者側に立ったサービスの提供をしているか。	①ホスピタリティ向上の必要性をスタッフに徹底している。 ②職員の服装や身だしなみ、挨拶の励行を徹底している。 ③客席案内やもぎりなどのサービスに努めている。 ④利用者の意見を収集している。 ⑤ホームページやチラシに館のアクセス経路や問合せ先をわかりやすく掲載している。	A	賞館についてはホスピタリティやサービスを徹底し、主催者から高い評価を得ている。 今後、PRの一層の強化や広くコンベンションなどの誘致も図りたい。	
財 務	1	文化事業 自主財源比率	（事業収入＋文化庁補助金等）／事業費	自主財源比率	60%以上	64.5%	A	目標を上回ることができた。
	2	文化事業収入拡大に関する取組み	地域創造ユニット（C-3-②）	事業担当者が、必要に応じて営業活動を行い、事業収入の拡大に取り組んでいるか。	事業担当者及び営業の担当者が、積極的にチケットの販売経路や顧客開拓、利用者拡大のための営業活用等を行い、事業収入の拡大に努めている。	A		
	3	外部資金導入額、導入率、外部資金導入に関する取組み	地域創造ユニット（C-3-①）	外部資金の必要性を検討し、必要に応じて情報収集を行い、都度外部資金の獲得に取り組んでいるか。	外部資金を戦略的に捉え、日頃から助成金の情報収集や企業に協力・協賛を依頼できる関係づくりを行い、積極的に外部の資金の獲得・活用に努めている。	A	文化庁への申請・協賛企業まわり・個人協賛の募集等をおこなった。	
	4	経費の削減		指定管理料（管理経費）・事業費補助を年度協定額及び交付決定額以下に抑える。	指定管理料 661,990,750円 事業補助金 204,551,506円	B	選択と集中、事務効率化の徹底をおこなった。	
	5	市の歳入の増加		施設使用料収入	71,000千円以上	69,813千円	C	コンサートホール、劇場の施設使用料が落ち込んだ。

H27年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
業 務	1	長期的な視点にたった管理施設の保全		長期修繕計画を作成し、必要に応じて見直しを行う。	長期修繕計画がある	B	H28～H30年度は、市発注で大改修を行う。
	2	安全責任者の配置と安全確保体制の確立		連絡体制の確立	消防訓練、防災訓練を実施している。緊急時の迅速に、責任体制、マニュアル及び連絡網が整備されている。	A	H27年度～2種類の緊急連絡網を整備した ・管理職 → 一般職員へ情報が流れるもの ・現場（一般職員） → 管理職へ情報が流れるもの
	3	事件・事故発生時の対応の適切さ		AEDの使用法の周知徹底	AEDの操作訓練を実施している	B	
	4	日常連絡の適切さ		月次報告書を翌月10日までに提出	毎月10日までに提出	B	
	5	事業計画・事業報告の適切さ		事業報告書を翌年度4月30日までに提出	4月30日までに提出	B	
	6	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ		改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する。	改善勧告等は特になかった。	B	
	7	運営方針・事業目標の位置づけ		自館の設置目的、基本的使命が、運営の指針となっているか。	文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針があり、劇場・ホールの事業や運営の指針となっており、達成目標が明確である。	A	・指定管理者業務計画書 ・同 報告書 ・本自己評価
	8	運営方針、事業目標の市民への公開		運営方針をホームページに掲載し、評価のためのアンケートを実施しているか。	施設の運営方針は、HPに掲載している。市民の意見や運営改善、評価のためにアンケートを実施している。	B	
	9	運営方針、事業目標に関する自己評価等の有無		自館の設置目的、基本的使命に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業改善に役立てているか。	施設の運営方針に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善に役立てている。	A	
	10	運営方針を実現するための経営戦略の有無		市と定期的なミーティングを行い、経営戦略の見直しに取り組んでいるか。	市と定期的なミーティングを実施しており、運営方針を踏まえながら、経費の節減や経営の効率化に取り組んでいる。	B	
	11	個人情報保護に関する実施の有無		実施していること	財団内に個人情報保護規定があり、研修が実施されている。	B	情報セキュリティ研修に内包して実施 ※ H28年3月29・30日実施
	12	当該施設の管理に関する関係法令の遵守		コンプライアンス研修の実施	内部研修を行っている。	B	H28年2月25・26日実施
	13	守秘義務の徹底		守秘義務違反に該当する問題がないこと	守秘義務違反に該当する問題はなかった。	B	
	14	他の公立館との共同・連携企画の有無・回数		共同・連携公演の企画が年間3つ以上	13企画	A	神奈川芸術劇場等と連携、指標を大きく上回った

H27年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
人 材	1	専門性の高い人材の配置、育成	地域創造ユニット（C-1-③）	館の各業務に必要な専門的知識や技能、経験、資格等を備えた職員を配置すること	専属の芸術監督やオルガニストを配置している。また、音楽・演劇・舞踊などの各分野において専門家からの指導・助言を受けているほか、外部主催の専門的研修会にも積極的に参加している。	A	研修会参加実績（一部抜粋） 【舞台技術】 ・公立劇場舞台技術者連絡会 技術研修会 【アートマネジメント】 ・文化芸術、実演芸能団体アートマネジメントゼミ ・全国劇場、音楽堂等連携フォーラム
	2	職員のスキルとモチベーションの向上	地域創造ユニット（C-1-④）	内部研修を行い、必要に応じ、外部研修を利用しているか。	組織内部での研修実施や、外部研修にも積極的に参加するほか、自主企画事業の実施を通じ、スキルアップを図っている。	A	内部研修実績 ・コンプライアンス研修 ・情報セキュリティ研修 ・庶務研修（新規採用者のみ）
	3	労働基準の充足		労働基準違反に該当する問題がないこと	労働基準法違反に関する事例はなかった。	B	

1. 評価指数が数値である項目は、以下の3段階で評価。

- A 要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準（＝評価指標）が達成されている。
- C 要求水準（＝評価指標）が達成されていない。

2. 数値で表しにくい項目については、（一財）地域創造作成の「公立ホール・公立劇場の評価指針」の戦略評価ユニットを基に以下のとおり4段階で評価する。

- イ 持続とさらなる向上が期待される。 → A
- ロ ステップアップが望まれる。 → B
- ハ 見直しが必要である。 → C
- ニ 抜本的な見直しが必要である。 → D

H27年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（指定管理者独自の項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト	
文化の振興	1	共催事業公演数		共催公演数 92回 → H22（LFJスタート）～24年度平均より	108回	A	ラ・フォル・ジュルネ、新潟市芸術まつりの公演数が大きなウェイトを占める。	
新潟市の 地域活性化	1	市報への記事掲載回数		掲載回数 37回 → H22～24年度平均より	59回	A	情報発信のため効果的に活用した。	
	2	雑誌への記事掲載回数		掲載回数 186回 → H21～24年度平均より	170回	C	//	
	3	新聞広告		出稿回数 31回 → H21～24年度平均より	32回	B	//	
	4	TV告知スポット		回数 24本 → H21～24年度平均より	21本	C	//	
	5	ラジオ広告		回数 135本 → H21～24年度平均より	193本	A	//	
	6	雑誌広告		回数 16本 → H21～24年度平均より	34本	A	//	
	7	りゅーとびあマガジン		年間発行回数 4回	4回	B	//	
	8	イベントガイド		月間発行回数 1回	1回	B	//	
	9	会館ホームページ		更新回数 随 時	随 時	B	//	
	10	りゅーとびあカレンダー		年間発行回数 4回	4回	B	//	
	11	メールマガジン		月間制作数 4回	3～4回	B	//	
	12	パートナーショップ		加盟店数 40店	50店	A	近隣商店との連携を図り、周辺地域のまちづくりに積極的に取り組んだ。	
効率的な 会館運営	1	登録レセプションистの配置	登録レセプションистの体制継続	50人体制	47人	C	採用後に辞退する者がいたことで、予定していた求人を満たすことができなかった。	
	2	バックステージツアー		年間開催回数 6回	6回	B		
	3	安全・リスク管理の対応度	訓練の実施回数	防火訓練	2回	2回	B	法令に従い、訓練を実施
				防災訓練	1回	2回	A	//
	4	清掃・館内美化への対応度	地域創造ユニット（B-3-③）	観客や住民が、安全に安心して利用できる施設環境と運営体制を整えているか。	清掃会社と共同で、施設の特性に応じた清掃の基準やマニュアルを作成し、清楚の実施状況を定期的に点検し、必要な場合は基準やマニュアルの見直しをおこなうとともに、館内の掲示物や備品のデザインや設置状況を含めた総合的なアメニティの向上を図っている。	A	法令の基準に従い、衛生管理を実施した。	
5	施設・設備の保守点検度	公演に支障をきたす設備故障件数	故障件数	0件	0件	B	法定点検のほか、自主的な点検もおこなった。	
		施設管理業務中の労働災害件数	災害件数	0件	0件	B		

H27年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（指定管理者独自の項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
効率的 な 会館運営	6	関係法令の遵守		財団情報の公開 随時対応	公開請求なし	A	
	7	一人あたりの経費	総支出額 ÷ 年間利用者数	金額 3,300円以下 → H21-24年度平均より	3,416円	C	文化事業費が、H26比+8,300万円により、コストが増大し、評価指標を達成できなかった。年間利用者数に、新潟発創造事業の東京公演等の観覧者を加える方法への見直しを検討したい

1. 評価指数が数値である項目は、以下の3段階で評価。

- A 要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準（＝評価指標）が達成されている。
- C 要求水準（＝評価指標）が達成されていない。

2. 数値で表しにくい項目については、（一財）地域創造作成の「公立ホール・公立劇場の評価指針」の戦略評価ユニットを基に以下のとおり4段階で評価する。

- イ 持続とさらなる向上が期待される。 → A
- ロ ステップアップが望まれる。 → B
- ハ 見直しが必要である。 → C
- ニ 抜本的な見直しが必要である。 → D

総 合 評 価 （ 所 見 ）

自主事業については、集客数、自主財源比率、公演回数すべてで昨年度を上回り十分に目標を達成した。

※ H26年度比 集客数：13,446人増 自主財源比率：3.2%増 公演回数：81公演増

文化事業公演等の鑑賞者の満足度は、昨年度に引き続き高い数値を残すことができ、十分に目標を達成しているが、更にお客様に満足して頂ける内容とすべく、工夫を続ける必要がある。

普及系、育成系事業のワークショップ・アウトリーチ回数についても昨年度を上回り、十分に目標を達成した。

※ H26年度比 普及系：17回増 育成系：8回増

施設管理の面では、総入館者数が昨年度より約3千人増加し目標を上回ったが、貸館の使用料は約330万円減少、3ホールの稼働率も目標を達成できたのは劇場のみと低迷した。来年度は、目標を達成できるようイベントや大規模なコンベンション等の誘致に努めたい。

音楽文化会館 指定管理者自己評価（H27年度）

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	基準利用者数の達成	年間利用者数104,000人以上	102,488人	C	<p>建物の耐震補強工事が5か月間行われたことから、年間利用者を12分の7と達成基準を変更したがわずかに達成できなかった。またホール稼働率も達成できなかった。休館が利用の多い10～12月が含まれた影響が大きいものと思われる。</p> <p>今後も、PRの強化や運用面の改善などを図り利用の増加に努めたい。</p> <p>満足度調査は目標値をクリアしており、会館のサービスやホスピタリティも良好な状況であった。</p>
	基準稼働率の達成	ホール稼働率 74.0%以上	67.2%	C	
	貸館利用者（主催者）満足度	貸館利用者の満足度調査で、90%以上	99.4%	A	
	貸館利用者の意見やニーズを聴取するしくみの有無	実施していること	利用報告書に満足度調査とアンケートにより意見・ニーズの把握	A	
	貸館利用者に対するサービスの提供	4段階評価（※2）を行い、3段階以上にあること（戦略・評価ユニットNO. B-1-④）	受付担当者が規定にのっとり対応している。舞台利用者には技術担当者も利用者の希望を聞き、満足度を意識したサービスが行われている。	B	
	ホスピタリティに関する取り組み	4段階評価（※2）を行い、3段階以上にあること（戦略・評価ユニットNO. B-2-③）	①ホスピタリティ向上の必要性をスタッフに徹底している。②職員の服装や身だしなみ、挨拶の励行を徹底している。③ホームページやチラシに館でのアクセス経路や問合せ先をわかりやすく掲載している。④館内の案内表示や利用案内を利用者にわかりやすく工夫している。	A	
公演や催物情報の情報発信	会館ホームページ（随時更新）	随時	B		
財務	経費の削減	指定管理料（管理経費・事業費補助）を年度協定額及び交付決定額以下	予算 113,414千円 決算 113,032千円	A	<p>会館の予算については、市の予算づけに従い予算の範囲で業務を達成した。</p> <p>使用料収入は、耐震補強工事に伴う休館のため、減額したことから目標を達成することができた。</p>
	市の歳入の増加	使用料収入 20,200千円以上	23,190千円	A	
業務	長期的な視点にたった施設・設備の保守点検度	公演に支障をきたす設備故障件数。労災事故件数。	1件	C	<p>施設の管理については、法律に従い保守点検、衛生管理を行っており、危機管理の観点からも防火・防災訓練を行っている。</p> <p>冷房設備の冷温水発生機が腐食により故障停止した。市と連携をとりながら復旧に努めたが、貸館・公演に支障をきたすことになった。</p> <p>当館は昭和52年の建設から38年経過し、建物・設備とも老朽化が進んでいる。今後も改修について市と協議していきたい。</p>
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立（消防訓練2回）	消防訓練2回	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	AEDの使用法の周知徹底（講習会1回）	12/16	B	
	日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	毎月10日までに提出	B	
	事業計画・事業報告の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	4月30日までに提出	B	
	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する。	改善勧告等は特になかった。	B	
	運営方針、事業目標の市民への公開	運営方針をホームページで掲載し、評価のためのアンケートを実施しているか。	施設の運営方針は、HPに掲載している。市民の意見や運営改善、評価のためにアンケートを実施している。	B	
運営方針、事業目標に関する自己評価等の有無	自館の設置目的、基本的使命に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業改善に役立てているか。	施設の運営方針に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善に役立てている。	A		

	運営方針を実現するための経営戦略の有無	市と定期的なミーティングを行い、経営戦略の見直しに取り組んでいるか。	市と定期的なミーティングを行っており、運営方針を踏まえながら、経費削減や経営の効率化に取り組んでいる。	B
	個人情報保護に関する実施の有無	実施していること	財団内に個人情報保護規定があり研修が実施されている。	B
	当該施設の管理に関する関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施（1回）	コンプライアンス研修の実施 2/25～26	B
人材	専門性の高い人材の配置、育成	4段階評価（※2）を行い、3段階以上にあること 地域創造ユニット(C-1-③)	公文協研修会	A
	職員のスキルとモチベーションの向上	4段階評価（※2）を行い、3段階以上にあること（戦略・評価ユニットNO. C-1-④）	財団職員研修会	A
	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	労働基準違反に関する事例はなかった。	B

総合評価（所見）

入場者数・ホールの稼働率は耐震補強工事による休館（5ヶ月）の影響で、目標値をクリアできなかった。目標値は、通常の12分の7としたが、利用の多い10～12月が工事期間と重なったことや、長期に渡る休館と同規模会館が相次いで閉館（H22北区文化会館・H23東区市民プラザ・H24江南区・H25秋葉区文化会館）したことによる影響と思われる。また、使用料収入は耐震補強工事による休館があったが、目標を達成できた。すべての目標達成は厳しい状況であるが、PRの強化や運用面の改善などを図り目標達成の努力をしていきたい。冷暖房設備の故障で貸館・公演に支障があったことから、さらに注意して施設の点検行うとともに、老朽化している施設の改修について市と協議していきたい。

※1 評価指数が数値である項目については、以下の3段階で評価した。

- A
- B 要求水準(評価指数)が達成されている。
- C 要求水準(評価指数)が達成されていない。

※2 数値で表しにくい項目については、財団法人地域創造が作成した「公立ホール・公立劇場の評価指針」の戦略・評価ユニットを基に評価指標を設定し以下のとおり4段階で評価した。

- イ 持続とさらなる向上が期待される。→ A
- ロ ステップアップが望まれる。・・・→ B
- ハ 見直しが必要である。・・・・・・→ C
- ニ 抜本的な見直しが必要である。・・・→ D

27年度委託契約（施設管理）

入札：指名入札 随契：見積り合せ 一者：一者随契

囲い：契約一本化

業務内容	市民芸術文化会館		音楽文化会館	
	委託先	契約	委託先	契約
1 人的派遣				
① 警備（機械）	セコム上信越(株)	一者	セコム上信越(株)	一者
② 警備（常駐）	(株)NKS コーポレーション新潟支店 セコム上信越(株) (複数年契約)	入札	(株)NKS コーポレーション新潟支店 (複数年契約)	入札
③ 設備運転管理			(株)NKS コーポレーション新潟支店 (複数年契約)	入札
④ 清掃業務	中央管財(株)	入札	中央管財(株)	入札
⑤ 窓ガラス清掃業務	新潟交友事業(株)	随意	新潟交友事業(株)	随意
⑥ 廃棄物処理	(株)県都食品環境分析センター (一財)新潟県環境分析センター	随意	(株)県都食品環境分析センター (一財)新潟県環境分析センター	随意
⑦ 水質検査	新潟交友事業(株)	随意	新潟交友事業(株)	随意
⑧ 空気環境測定	(株)アート	随意	(株)アート	随意
⑨ ねずみ等生息調査	(株)企業水処理サービス	随意	(株)企業水処理サービス	随意
⑩ 水槽清掃	(一財)新潟県環境衛生研究所	随意	(一財)新潟県環境衛生研究所	随意
⑪ ばい煙測定	(社)新潟市シルバー人材センター	一者	—	—
⑫ 駐車場管理				
2 保守点検				
① 電気設備	(一財)東北電気保安協会新潟事業本部	入札	(一財)東北電気保安協会新潟事業本部	入札
② 直流電源装置	自主管理	—		
③ 自家発電設備	北越機電工業(株)	随意	豆工業(株)	一者
④ 冷温水発生機	荏原冷熱システム(株)新潟営業所	一者	菱機工業(株)	一者
⑤ 空調設備	ダイダン(株)新潟支店	入札	上期：ダイダン(株)新潟支店 下期：ダイダン(株)新潟支店	随意
⑥ 排煙設備	ダイダン(株)新潟支店	入札		
⑦ 冷却塔	轟産業(株)新潟支店	随意		
⑧ 自動制御装置	アズビル(株)ビルシステムカンパニー	一者	アズビル(株)ビルシステムカンパニー	一者
⑨ ボイラー貯湯タンク	渡辺建設(株)	随意	—	—
⑩ エレベーター設備	(株)日立ビルシステム関越支社	一者	(株)日立ビルシステム関越支社	一者
⑪ オーニング設備	三精テクノロジー(株)東京支店	一者	—	—
⑫ ゴンドラ設備	日本ビソー(株)本設ゴンドラ東京支店	一者	—	—
⑬ 自動ドア	(株)新潟ナフコ	一者	新潟寺岡オートドア(株) (1F) (株)新潟ナフコ (2F)	一者
⑭ 防災設備（機械）	星防災設備(株)	随意	星防災設備(株)	随意
⑭-2 防災設備（電気）	(株)興電社	入札	(株)興電社	入札
⑮ 植栽	グリーン産業(株)	入札	グリーン産業(株)	入札
⑯ 上水減菌装置	新潟オーヤラックス販売(株)	一者	—	—
⑰ シャッター	(株)LXI 鈴木シャッター新潟営業所	一者	三和シャッター工業(株)新潟センター	一者
⑱ 空気清浄機	ミドリ安全新潟(株)	一者	—	—
⑲ 排煙窓	小竹金物(株)新潟営業所	一者	—	—
⑳ 客席椅子	コトブキシーティング(株)	一者	(株)NKS コーポレーション新潟支店 (設備運転・清掃業務に含む)	入札

27年度委託契約（舞台技術）

入：指名入札 随：見積り合せ 一者：一者随契

囲い：契約一本化

業務内容	市民芸術文化会館		音楽文化会館	
	委託先	契約	委託先	契約
1 人的派遣				
① 舞台技術管理運営	新潟照明技研(株)	一者	新潟照明技研(株)	一者

2 保守点検				
① 舞台機構設備	カヤバ・システムマシナリー(株)	一者	森平舞台機構(株)	一者
② 舞台音響設備	パナソニックシステムネットワークス(株) システムソリューションズジャパンカンパニー新潟支店	一者	ヤマハサウンドシステム(株)	一者
③ 舞台照明設備	丸茂電機(株)	一者	東芝エルティールエンジニアリング(株)首都圏営業所	一者
④ 映像記録設備	(株)鈴商	随	—	—
⑤ パイプオルガン	グレンツィング社	一者	—	—
	木村オルガン工房	一者		
⑥ ピアノ	(株)ヤマハ・ミュージックリテイニング	随	(株)ヤマハ・ミュージックリテイニング	随
	いわもと楽器サービス	一者	渡辺ピアノ調律所	
	(株)北越楽器・新潟店	一者	(株)松尾楽器商会	一者
⑦ チェンバロ	モモセ・ハーブシコード	一者	今井ピアノ調律所	一者
⑧ ポジティブオルガン	マルク・ガルニエ・オルグ・ジャボン	一者	—	—

新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館 平成27年度 収支決算書

収 入	科 目	決 算 額 (千円)	備 考
	新潟市民芸術文化会館	1,281,365	
	市が支払う経費	866,543	指定管理料・補助金
	事業収入	305,861	入場料収入等
	付帯事業収入	42,880	飲食施設売上等
	その他	66,081	文化庁補助金等
	新潟市音楽文化会館	113,032	
	市が支払う経費	112,940	指定管理料
	その他	92	
	合 計	1,394,397	

支 出	科 目	決 算 額 (千円)	備 考
	新潟市民芸術文化会館	1,281,365	
	文化事業費	576,408	
	音楽事業	174,213	東響定期演奏会等
	演劇事業	169,766	ふるまち新潟をどり等
	能楽事業	27,385	春・秋能楽鑑賞会等
	舞踊事業	143,172	Noism等
	その他	61,872	広報宣伝、調査研究等
	施設管理受託事業費	662,077	
	人件費	286,566	
	サービス業務運営費	26,862	レセプションист等
	光熱水費	110,076	
	委託料	183,369	清掃、警備、設備点検等
	維持補修費	41,340	
	広報宣伝費	1,295	
	その他	12,569	OA、職員研修等
	付帯事業費	42,880	飲食施設運営費等
	新潟市音楽文化会館	113,032	
	施設管理受託事業費	113,032	
	人件費	40,089	
	光熱水費	19,800	
	委託料	37,482	清掃、警備、設備点検等
	維持補修費	9,016	
	その他	6,645	事務費等
	合 計	1,394,397	